伊那弥生ケ丘高等学校
校長通信 ～知徳兼ねつつ たくましく～
第13号
令和8年 10 月 5 日

音楽会・・・80 年前からの伝統行事

９月３日（木）、伊那文化会館で音楽会が開催されました。コンクール形式でクラスごと合唱を披露するとともに、３年生の音楽選択者、音楽部、器楽部、吹奏楽部、職員も合唱・演奏を発表し、全員が参加して音楽を堪能する１日になりました。

本校の音楽会は、1946 年にソプラノ歌手を招いた音楽会が始まりです。翌年には校内音楽会を開催し、現在の合唱の形となったのは、1949 年に生徒会が主催した「全校音楽コンクール」からです。近年では、コロナ禍のため３年間は中断しましたが、1949 年を最初とすると、77 年前から続く学校行事として定着しています。

すでに夏休み前から準備し、特に直前の１週間は校舎内に練習の歌声が響いていました。当日も会場でリハーサルを行い、学芸委員会の生徒は本番も含め企画・運営で大忙しでした。当日は、多くの保護者の方にも参観をいただき、会場は満席に近い状況でした。

コンクール部門では、１年生→２年生→３年生の順にクラスごと登壇して、混成３部または４部の合唱を発表しました。それぞれ緊張も見受けられるなか、練習の成果を発揮できたと思います。審査基準は声量やハーモニー等でしたが、甲乙つけがたい内容でした。どのクラスからも感動をもらうことができ、こうした文芸的行事を開催できることに感謝しつつ、聴衆の一人として心地よい時間を過ごすことができました。



生徒会長を中心としたオープニング



最優秀賞の３年生



優秀賞の３年生



優秀賞の２年生



選択音楽の生徒



結果発表